

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成29年7月18日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市東神足2-1-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ニチュ三菱フォークリフト株式会社 取締役社長 ニノ宮 秀明

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2004/JIS Q 14001:2004
適 用 範 囲	・ニチュ三菱フォークリフト株式会社 京都工場、滋賀工場、オンサイト研修センター ニチュマシナリー
導 入 年 月 日	2005年9月16日
認 証 番 号	JQA-EM4909
基 本 方 針	添付のとおり（環境マネジメントマニュアル抜粋）
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2014年度～2016年度の3か年目標（環境目的）を三菱重工グループの3か年目標のサイクルに合わせるため、1年延長し2017年度までとして、次のとおり定めた。 ・環境活動を事業活動のひとつとして位置づける。 ・省エネ、省資源に寄与する製品を開発、提供する。 ・グリーン調達を実施する。 ・ゼロエミッション（再資源化率99%以上）を達成する。 ・環境啓発活動を積極的に行う。 ・CO2排出量削減と、エネルギー原単位を前年比1%改善する。 ・製品/部品輸送に伴う省エネ、省資源について原単位で改善する。
目標を達成するための取組の内容	・ISO2015年改定に対応したEMS推進体制の整備。 ・LCAの運用定着に向けた準備 ・製品含有化学物質対応強化 ・環境パトロール実施による、分別徹底や環境意識向上。 ・地域貢献活動への参加。 ・環境設備投資や工数低減活動の実施 ・梱包方法見直しや梱包材の再利用。
目標を達成するための取組の進捗状況	・新規格に対応した内部監査やマネジメントレビュー等の実施。 ・製品アセスメント社標準等の見直し。 ・SVHC調査実施率向上、「禁止物質の不使用・非含有宣言書」提出率向上。 ・分別徹底による一般廃棄物削減と有価物化促進。 ・ごみゼロ運動実施や、森林ボランティアへの参加。 ・エネルギー使用合理化に寄与する設備投資や製造部門の工数低減活動。 ・梱包方法見直しや、梱包材再利用により、廃棄物削減に寄与。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2016年度までの成果、評価等については、次のとおり。 ・EMS推進体制について、引続き改善を図る。 ・製品アセスメントについて、引続き改善を図る。 ・SVHC調査の回答率向上と「禁止物質の不使用・非含有宣言書」提出率向上を図ることができた。 ・分別方法の見直しを検討し、廃棄物の削減を図る。 ・予定された環境設備投資の完了。 ・原単位あたりの梱包材使用量の削減。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規制登録簿を作成し、毎年、順法性評価を行うとともに、適宜、法規制登録簿の見直しを実施している。 行政当局からの違反の指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、年1回、3月にマネジメントレビューを実施している。前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用することとした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。